

水は限りある貴重な資源です。

8月1日は「水の日」

8月1日～7日は「水の週間」



命を支える水

安心・安全な水を届けるために・・・

桂

川町の水道の水は、土師浄水場（河川・井戸より取水）と

豆田浄水場（井戸より取水）の2カ所の浄水場で月平均13万7千7百㎡（下ラム缶68万8千5百本分）の水道水を作っています。浄水場には、町水道課の職員が24時間体制で水質管理にあたっています。「上流で少し雨が降っただけでも水質がゴロつと変わるので、きれいな水を作るためには常に水から目が離せません。」と浄水場の職員は水のできるまでを話してくれました。

また、町の水道課では、皆さんの自宅へ水道水を送った後も町内各地の蛇口で採取した水道水の水質検査を行い、送水途中で水道水に異常はないかなどを監視しています。今後も、蛇口をひねれば、いつでもどこでも安心して飲める水、安全な水が出る桂川町の上水道の維持管理に努めます。

水道水ができるまで（土師浄水場）

取水



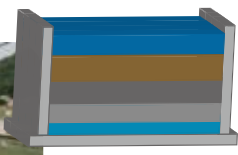
▲泉河内川の水を取水源とする土師浄水場の取水ポンプ

泉河内川



▲季節にはホタルも飛び交う美しい川（土師浄水場より少し上流にて撮影）

緩速ろ過池



▲緩速ろ過池横断面イラスト

▲玉砂利、ろ過砂などの層を通ることによりゴミや不純物が取り除かれ、薬品を極力使わず安心・安全な水を作る昔から行われている方法です。

浄水池



▲きれいになった水に、ここで塩素注入を行い殺菌された安全な飲み水が完成します。このあと配水池へポンプで送水します。

配水池



▲浄水場近くの山の上にあります。動力は使わず、高低差を利用して、皆様のご家庭の蛇口へと水道水を送っています。



消える水のナゾ？

皆 さんのお宅へは、網目のようにはりめぐらされた水道管を使って給水されている水道水ですが、作った水の量、浄水量と販売水量を比べると、約10%の水が消えています。

このナゾを解いてくれるのが、左の写真の人。そう、原因は漏水（みずすい）です。（※他に、火災時の消火栓からの出水もあります）

町では定期的に漏水調査を実施しておりますが、大切な水を守るには皆さんの協力が欠かせません。もし、漏水を見かけましたら、水道課（☎65・3241）までご連絡をお願いします。



▲地面の中の水漏れの音がいないか調べる漏水調査官。